

緑化だより

No.203 令和6年4月号



サクラ“思川”

- 季節の花(ニハウメ(ニワウメ))
- 水生昆虫の話
(オオマダラカゲロウ)
- 小さな世界こけ(オオホウキゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

4月 休園日はありません

ryokka 緑化の未来

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ニワウメ(ニワウメ)

「思はじと 言ひてしものを 朱華色(はねずいろ)の
移(うつろ)ひやすき わが心かも

さかのうえのいらつめ
坂上郎女 万葉集 卷 11-2786

これを訳しますと

(恋などすまいと思っていたのに、私の心は朱華のように移り気な心だろうか。思いがけず恋をしてしまいました。)と自分ながら驚いている様子の歌です。

坂上郎女は後期万葉を代表する女性歌人で、大伴旅人の妹、大伴家持の叔母にあたります。

朱華色は伝統のある色で、桃の花のような春らしい優しい紅の色です。染色した衣服は灰で洗濯すると色落ちして薄くなります。そのことから「移ろいやすい」「変わりやすい」人の心に例えられます。(灰は水を加えるとアルカリ性になり皮脂や垢などの油分、たんぱく質の汚れを分解し色もあせて薄くなります。)

ニワウメ(庭梅)はバラ科サクラ属の耐寒性の落葉低木で中国原産です。葉は互生で花期は4~5月頃、白または薄桃色の一重の5弁花です。梅に似た小花を1~3個つけて花には花柄があります。初夏になると、赤く熟し、丸くて光沢のある果実がなります。

別名は「小梅」またはよく分枝するので「林生梅」とも言われ、古くから観賞用に植えられます。

花がよく似ているバラ科サクラ属のユスラウメは江戸時代には植栽されていました。

ニワウメとの違いは、ユスラウメは葉の表面が葉脈に沿ってボコボコしており葉の裏に軟毛があり、樹高も2~3mありますが、ニワウメは葉の表面がなめらかな感じで、毛が少なく、樹高は約1.8mで株立ちです。

どちらも梅雨のころ赤い実をつけ、生食、果実酒、ジャムなど食用または薬用にします。

ニワウメの果実の中にある種子を漢方では「郁李子」と呼んで薬用にします。

花が八重咲きのはニワザクラ(庭桜)です。この木はニワウメの変種です。背丈が低く、花数が多くて美しい、狭い庭に植えても鑑賞できます。花を愛でて果実を利用するには、ニワウメ、ユスラウメを庭に植えて、楽しむことができます。(上村)



ニワウメ

水生昆虫の話

オオマダラカゲロウ

3月号でご紹介したオオクママダラカゲロウは、マダラカゲロウの仲間では細マッチョ系ですが、今回はゴリマッチョ系マダラカゲロウで、トゲマダラカゲロウ属の一種「オオマダラカゲロウ」をご紹介します。

両者の写真を比較していただくと分かりやすいのですが、まず、大きな見た目の違いは、一対目の一番前の脚がまるで力こぶのように太く、しかも棘があるので見るからに強そうなところ。まるでボディビルダーのような良い体をしている幼虫です。春になると羽化するので、この時期になると終齢幼虫でなんと！16mm以上になる個体もいて、なかなか見応えがあります。

しかも、幼虫には個体差があり、写真の個体は鎧を付けたような色合いです。生息している環境に合わせて茶色っぽい個体、青っぽい個体、黄色っぽい個体、白っぽい個体、ゴマダラっぽい個体など、バリエーション豊かなのもこのカゲロウの観察の面白いところ。

幼虫の頭部前方には、大きな角が2本(真ん中にも小さな角が2本)あるので、頭部を確認することで同定ができます。

北海道～九州にかけて広く分布しており、山地溪流から都市部のような平地で、瀬のような溪流にかけて比較的広い範囲で観察することができるので、この時期に石がゴロゴロしているあたりの落ち葉や枝などが引っ掛かっているようなポイントでガサガサすると、そのがっしりとした姿を見ることができます。

幼虫は肉食性で、トビケラなどの水生生物を棘の生えた前足で挟んで捕まえて捕食します。しかし、その口は写真のようにまるで海にいるエイの仲間の口のような、なんだか可愛らしい形をしています。

今が終齢幼虫の観察ができる絶好のチャンスなので、ぜひ緑化センターの小川をのぞいてみてはいかがでしょうか。(西村)



オオマダラカゲロウの幼虫



マダラカゲロウの幼虫の口

小さな世界 こけ

オオホウキゴケ

タイ類のオオホウキゴケは日本特産のコケで、本州太平洋側、四国、九州に幅広く分布しており、西日本の低地では多く見られます。

日当りのよい場所から日陰地の湿った土や岩に生育し、緑化センターでは屋上庭園の景石に見ることができます。

雌雄異株で、茎の長さ1～1.5 cm、幅2～3 mm、茎の腹面には仮根が密生し、密着して這います。

1.5 mm前後の葉は、全縁の広卵形で、茎の左右に重なり合っつけてつきます。冬になると赤味を帯びますが、3月になると緑色の新しい葉を出します。

新しい葉が出る頃、雌苞葉から黒い球形の胞子のう(蒴)が顔を出し、1週間くらいで透明な柄が急に伸びると、胞子のう(蒴)は4裂し胞子を出します。役目を終わると胞子体は倒れます。

胞子体がいつまでも残るセン類と異なり、タイ類の胞子体は短命で、柄も弱々しく、胞子を散布するとすぐに萎びて枯れるのが特徴の一つです。(山根)



オオホウキゴケ



オオホウキゴケの胞子体

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| ○ 4月 7日(日)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品 100円、荒天中止 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 4月 7日(日)『ネイチャーゲーム』
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料、荒天中止 | 10:00～15:00 イベント会場
講師 広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 4月 9日(火)『早春の写真教室』
散策路を歩きながら植物の撮影について学びます
※要予約(先着 15名)、無料、カメラ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○ 4月 13日(土)『藤ヶ丸山トレッキング』
距離往復 2.0km、標高差 340mに挑戦します。やや健脚向き
※要予約(先着 15名)、無料、雨具持参、雨天中止 | 10:00～12:00 第5駐車場 集合
講師:緑化センター職員 |
| ○ 4月 14日(日)『山菜教室』
室内での講義。試食はありません
※自由参加、無料、 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
長井 稔 |
| ○ 4月 17日(水)『4月の自然探勝』
散策しながら植物を観察します
※自由参加、無料、荒天中止 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師:元NHK文化センター
アシスタント 上村 恭子 |
| ○ 4月 29日(月・祝)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品 100円 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 4月 29日(月・祝)『ネイチャーゲーム』
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料、 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 4月 29日(月・祝)『たね団子を作ろう』
草花のたね団子作りに挑戦しよう
※現地受付(各先着 20名)、材料費 200円、 | 1回目 11:30～ イベント会場
2回目 14:00～ 同上
講師:みずえ緑地 |

☆お知らせ・ご案内 ☆♪

- ・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2024 春 ～5月 19日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!
- ・さくら祭り 2024 ～4月 14日(日)
さくらクイズに参加して景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約 60種類が楽しめます
- ・さくら祭り お楽しみイベント 4月 7日(日)10:00～15:00
場所:レストハウス前広場
- ・第28回 みどりの集い 4月 29日(月・祝)10:00～15:00
場所:多目的広場、(雨天の場合 詳細はH.Pなどでご確認ください)



◎展示会

場所:レストハウス
(ボード展示)

- ・緑化センターのさくら写真展 ～4月 14日(日)

